

岩手産食材を活用した商品作りによる付加価値創出とバリューチェーンを通じた価値獲得プロセスの考察

平成27年地域政策研究センター(教員提案型・後期) 採択課題

課題名：岩手産食材を活用した商品作りによる付加価値創出とバリューチェーンを通じた価値獲得プロセスの考察

—岩手県企業のビジネスモデル構築と地域活性化に向けて—

研究代表者：総合政策学部 准教授 近藤信一

キーワード：バリューチェーン、岩手県食材、中小企業、食品加工企業

▼研究の概要(背景・目標)

“岩手県は豊かな食材に恵まれているが、最大限に活かしきれているのか” “豊かな食材を活かした商品作りを行うことで地域をさらに盛り上げることができるのではないか”との問題意識から、本研究テーマを設定し、調査研究活動を行った。

▼研究の内容(方法・経過)

1. 調査対象：県内食品加工企業11社
2. 調査内容：本調査研究では、①岩手県内企業が、地元食材を活用した独自の商品を開発することで付加価値を創出し、バリューチェーンを通して地域外の人々に岩手の魅力を伝えることで価値を獲得するプロセスを明らかにすること、②岩手県内企業の取り組みの現状・課題に着目し、今後のビジネスモデル構築の方向性について提言すること、ひいては③岩手県企業の岩手県産食材を活用した企業活動が岩手県の各地域の経済活性化へとつながる政策的提言を作成すること、を研究目的とした。

▼研究の成果(結論・考察)

1. 県内をメインに商品を販売している企業では、岩手県産食材にこだわりを持つことで商品の付加価値が高まっている。
2. 商品単価が高い企業では、岩手県産食材にこだわりを持つことで付加価値が高まっている。

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

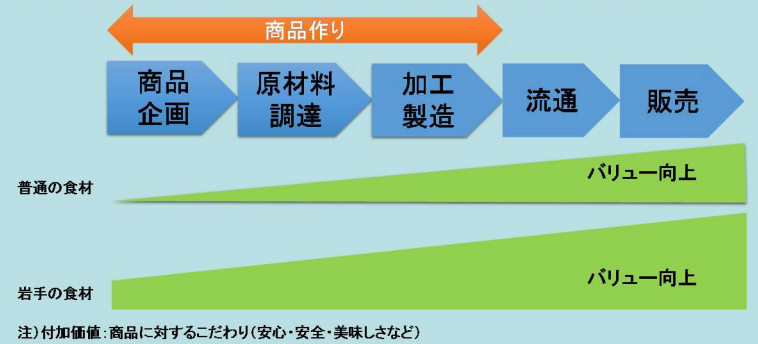
1. 本研究で得られた研究成果として、現在は県外をメインに商品を展開している企業でも、今後県内をメインに商品を売り出していく際には、岩手県産食材にこだわりを持って商品づくりをすることで付加価値を高めることができること、また現在は単価が低い商品を販売している企業でも、岩手県産食材にこだわりを持って商品づくりをすることで付加価値をより高め、現在より単価が高い商品を売り出していくことができること、など岩手県内の企業に対する提言を導出することが出来た。
2. 上記のこのことは、研究目的の①と②に対して本研究が一定の成果を挙げたといえるだろう。しかしながら、残された課題のとしては、研究目的の③政策的提言について十分に練られたものとはいえず、特に他県での先端的取り組み、さらには国外の先端的取り組みを調査して、政策的提言につなげるべきであったと考える。
3. 調査実施にあたり、ご協力いただいた県内企業の関係者の皆様に感謝申し上げます(謝辞)

問題設定(研究概念図)

—バリューチェーン(価値連鎖)とそのマネジメントに基づく価値の最大化—

本研究の仮説

▶ 地域食材(岩手県産食材)を使用することにバリューをより高めることができる



事例分析結果一覧

《岩手県産食材の魅力を認めている、売りにしている》

- ・地域雇用の場となり、生産者に貢献している。
- ・付加価値は岩手県産食材を使うことによって高まっている。
- ・流通の際に中間業者を介している。
- ・商品企画から販売までを通して付加価値は高まっている。

《岩手県産食材の魅力を認めているが、売りにしていない》

- ・生産者に貢献している。
- ・商品コンセプトが東北である。
- ・商品のコンセプトは岩手県産食材に限らないが、実現できている。
- ・原材料調達の基準はコストによる。
- ・加工するメリットは簡単に食べることができる。(そのまま)
- ・今後東北に売り出していきたい。

《発酵食品》

- ・付加価値は岩手県産食材を使うことによって高まっている。
- ・地域雇用の場となり、生産者に貢献している。
- ・商品のコンセプトは岩手県産食材を使うことによって実現できている。
- ・震災による原材料調達の変化はなし。(ただし大豆除く)
- ・加工する際に、衛生管理に留意している。
- ・商品企画から販売までを通して付加価値は高まっている。

《農水産加工品》

- ・地域雇用の場となり、生産者に貢献している。(共通)
- ・課題は生産者、企業の人材不足である。(共通)
- ・加工する際に、衛生管理に留意している。(加工製造)
- ・流通の際に中間業者を介している。(流通)

《県内メイン》

- ・付加価値は岩手県産食材を使うことによって高まっている。
- ・地域の雇用に貢献している。
- ・加工するメリットは保存日数が延びることである。
- ・流通の際に中間業者を介している。
- ・商品の価値を保つため、温度管理をしている。
- ・商品企画から販売までを通して付加価値は高まっている。
- ・今後、岩手県で売ってほしい。

《県外メイン(県内を含む)》

- ・生産者に貢献していきたい。
- ・加工する際に、衛生管理に留意している。
- ・今後、岩手県外に売ってほしい。

《価格高い》

- ・付加価値は岩手県産食材を使うことによって高まっている。
- ・地域雇用の場となり、生産者に貢献している。
- ・コンセプトは岩手県産食材を使うことによって実現できている。
- ・震災による原材料調達の変化はなし。(ただし大豆除く)
- ・加工する際に、衛生管理に留意している。
- ・加工するメリットは保存日数が延びることである。
- ・流通の際に中間業者を介している。
- ・商品企画から販売までを通して付加価値は高まっている。

《価格低い》

- ・材料の質、おいしさにこだわっている。
- ・安心・安全にこだわっている。
- ・生産者への貢献や地域活性化をしていきたい。
- ・食材を選ぶ際に、質、おいしさを重視している。
- ・加工する際に、衛生管理に留意している。